

令和4年7月1日

名古屋美容専門学校
校長 塚本 紀之 殿

第15回 学校関係者評価委員会報告書

学校関係者評価委員会
委員長 松本 邦裕

「自己評価報告書（令和3年度版）」に対し、学校関係者評価委員会を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和4年6月28日（火）9時45分～11時15分

2. 場 所 名古屋美容専門学校 1階 サロンワークスタジオ

3. 出席者 11名

学校関係者評価委員 5名

松本 邦博	校長指名者	株式会社アフェクション 総務部長
林下 大輔	業界関連	株式会社 CLEAR 取締役
千田 祐司	教育の知見者	株式会社さんぼう 名古屋支社長
安藤 美子	保護者	
阿部 彩雲	卒業生	‘AXIS勤務

教職員 7名

塚本 紀之	校長
光部 達也	事務課長
垣本 勝三	広報係長
前田 利夫	教務主任
近藤 龍起	学年主任
神戸 克仁	学年主任
下田 智子	就職担当

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（各委員に自己評価報告書等は事前に送付済み）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

令和3年度はまだコロナ禍であり、イベントやコンテストに多くの制約がある中で、名古屋美容専門学校（以下：名美専）は可能な限り「学習を継続する」「進路を止めない」学校運営をしてきたことがよく理解できました。名美専はブランド樹立の段階に入っており、そのためには国家試験（以下：国試）の高い合格率の常態化、コンテスト成果、第一希望サロンへの就職率80%に向けた指導を継続するとのことでした。また、令和5年度からのカリキュラム変更を「活躍できる美容師養成」にために実施すると聞きました。教育の改善は良いことですし、楽しみにして、今後を見守りたいと思っています。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・「建学の精神」を基本として学校運営をしていることがよくわかり、各教室に掲げられているという「建学の精神」の額も初めて見せてもらいました。名美専は、美容師養成という職業教育を標榜しており、特長として技術に取り組む真面目さなどがサロン関係者にしっかり感じられていると思います。

2 学校運営

- ・情報化についての現状確認と課題について説明がありました。コロナでのリモート授業の実現などご苦労も多かったと推察します。現状では大きな問題は感じませんでした。名美専が情報化に対して意欲と意識を常に高く持っていることがわかりました。

3 教育活動

- ・常に産業界の変化を取り入れようとしている姿勢が感じられました。他校に勝る①国試指導、②コンテスト成果、③就職実績ができています。また、昨年度の国試結果、コンテスト成果に基づき、学園内団体表彰を受けたことを知りました。

4 学修成果

- ・国試合格率および就職率ともに他校より高いが、さらに上を目指す姿勢が強く感じられました。昨年度は例年より退学者が多かったと聞きました。「必ず原因を突き止め、対応する」との言葉があり、常に高いレベルを目指す姿勢が感じられました。期待しています。

5 学生支援

- ・「先生たちの手厚い支援」が名美専の特長でもあると思います。お忙しい中で学生支援をバランスよくやっていくことは大変だと思いますが、学内での時間配分をご検討いただければと思います。

6 教育環境

- ・コロナ禍に「学習を継続する」だけでもご苦労があったと思います。Zoomや課題学習でのレベルダウンを自己評価で指摘してありましたが、他校より学習に向かう意識レベルは高いと思います。
- ・職業実践的教育のレベルの向上を目指すとの言葉がありました。産学連携などではサロンとしても名美専を応援する所存です。
- ・「単なる美容師」ではなく「活躍できる美容師」のためにカリキュラムを令和5年度に変えると聞きました。大変な作業と思いますが、頑張っていたきたいと思います。
- ・名美専が力を入れている産学連携は学生の職業意識形成や、意欲の向上に役立っていると思います。

7 学生の受入れ募集

- ・毎年、定員一杯を集めているとのこと。少子化の現代においては大変なご努力だと思います。特に問題ありません。良いと思います。

8 財務

- ・特に問題ありません。良いと思います。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ありません。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・コロナ禍で一部のボランティアを中止し、また、社会貢献活動も自粛した実施方法にしたとのこと、仕方のない評価だと思います。名美専では、社会貢献やボランティアは学習とのバランスの中でやっているようです。それで良いと思います。

11 国際交流

- ・毎年、卒業後に留学する者が1～2名いるとの報告を受けました。自己評価で数値がなく、学校関係者委員会も数値評価はやめました。

Ⅲ その他

- ・コロナ禍でも高校生の進路に大きな変化はないとの報告がありました。現状、名美専の人気は高校生、サロンの両方から支持されていると思います。
- ・学校は「令和5年度からのカリキュラム変更」を「活躍できる美容師養成」のために実施すると聞き、常に上を目指す姿勢を強く感じました。
- ・業界からも、学校からも、今後は自主性を引き出すこと、また、自主性を持った個人が組織を向上させるという意見がありました。

以上